

令和3年度 第2回 南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会 議事録

日時 令和3年11月18日(木) 午後2時30分～3時30分

場所 南丹市園部文化会館 大研修室

出席

<委員>岡本委員長、吉田副委員長、古北委員、西岡委員、城内委員、中田委員、
中川委員、朝倉委員、谷口委員

<事務局>木村教育長、社会教育課 浅田課長、八木課長補佐、西村係長、今西主事補、
市原主任、坂本社会教育主事、岡澤放課後児童クラブ総括主事、矢野支援員

欠席

中井委員、國府委員、今西委員

傍聴者 0人

開会

1 委員長あいさつ

2 教育長あいさつ

3 令和3年度の現状について

- ・入部申込状況に関して、登録者数は資料のとおり。休部や退部をする児童も増えている。特に今年は新型コロナウイルス感染症拡大予防の関係で、休部や退部者が多い。途中退部者は特に高学年児童が多いが、理由としては、留守番ができるようになった、家庭でみることができる等となっている。
- ・日々の出席は、10月の実績で一番多い日は、園部たんぼぼ76人、園部こすもす38人、八木せきれい東13人、八木せきれい西22人、胡麻どんぐり22人、殿田ひまわりで18人、美山やまばと11人となっている。
- ・今年も新型コロナウイルスの感染症拡大予防対策のために、子どもたちにとっても制限が多い児童クラブでの生活となっている。特に夏休みは、外部講師なし、遠出なし、プール活動なしだったが、ラジオ体操を行い時間のメリハリを付けたり、感染対策を行いながら外遊びをしたりと児童クラブ内で元気に過ごすことができた。
- ・2学期に入り、引き続き感染対策を行いながら、落ち着いて過ごすことができています。
- ・事故・ケガの状況は、現在までで2件保険適用になったケースがあった。事故が発生

した場合には、前回参考資料としてお配りした「危機管理マニュアル」により対応している。また、そのリスクに対応すべく、対策についても各クラブで話し合っている。

4 令和4年度の申込受付について

- ・11月後半に各地区において入部希望者説明会を開催し、入部申込み手続きの流れや児童クラブでの過ごし方などを説明した。説明会で配布した「しおり」、入部申込書、就労証明書は、資料のとおり。今後、12月に入部申込書の受け付けを行い、審査ののち、入部決定通知を送付。その後、入部決定者説明会を開催し、児童クラブを利用するための注意点や準備物について詳しく説明する予定。
- ・子どもさんが児童クラブに行く理由をしっかりと納得した上で、ご利用いただくことがスムーズな運営に繋がると考えているので、保護者には、十分お家で話し合ってくださいようお願いした。

5 その他

- ・令和4年度から園部小学校敷地内での開設を予定している、園部たんぼぼ放課後児童クラブ施設建設について現状報告。
- ・今年度中に発行された各児童クラブのおたよりを添付。今回新型コロナウイルス感染症感染予防のため、クラブ見学は割愛したが、各クラブで支援員が保護者宛てに発行しているおたよりに見ること、各クラブの様子を知ってもらえたらうれしく思う。
- ・たんぼぼ児童クラブの状況（矢野支援員代表）

児童クラブでの生活全般について、コロナの感染対策が必要で、おやつについては、学校の方で黙食を徹底されていることもあり、たんぼぼ児童クラブでも「いただきます。黙食をお願いします。」ということ当番が言ってくれる。15分ほど静かに食べ、食べ終わるとざわざわするので、そのタイミングで「ごちそうさま」をしてすぐマスクをするように子ども達の努力と支援員の声掛けでうまく感染対策ができていると思う。場面変わりの手洗いをするように子ども達にも話をしている。バスの利用もあるが、学校と同じように一人ひとりで座席で使用しています。1年生から6年生まで縦の関係があり混ざりあっているため、必ず何かをした後は手洗い、消毒の徹底をしている。子どもによっては気になる子と気にならない子がいて、そのフォローをどうしようかと考えて消毒を促したり、マスクを付けるように話をしたりして、みんなが気持ちよく過ごすためにはどうしたら良いかを子ども達と考えながらコロナと生活していくことで、教育委員会や学校の協力を得ながら運営している状況。

質問事項・意見

- （委員）他の小学校区の児童が、たんぼぼ児童クラブを利用することはできないのか。
- （事務局）住んでおられる校区内の児童クラブに行くこととなっている。

- (委員) 定員オーバーになっているところはあるのか。
- (事務局) 登録人数としては超えているクラブもあるが、実際の利用者数は定員内におさまっているので、現在利用できない児童はいない。
- (委員) それは登録して行かないのか、それともお断りしているのか。
- (事務局) 登録をして利用のない方。申し込みはするがこの1カ月は家で見ることができるという方や、家で留守番の練習をする、長期休みのみ利用の方などさまざまな事情がある。入部をお断りしている方はない。
- (委員) 説明会に参加していない方で急に児童クラブに入るのは可能か。
- (事務局) 基本的には、12月に申し込みをし、2月初旬に入部決定をする事務手続きに合わせてほしいが、転入や家庭や就労の状況が年度途中に変わられる方があり、そのような方には、年度途中の申し込みも受付をしており説明も個別で行っている。
- (委員) 土曜日の利用人数があるが、利用場所は決まっているのか。
- (事務局) 土曜日については、園部地区は園部たんぼ放課後児童クラブ、八木地区は八木せきれい東放課後児童クラブ、日吉地区は胡麻どんぐり放課後児童クラブ、美山地区は美山やまぼと放課後児童クラブで開設している。
- (委員) 運営委員会の情報開示について、運営委員会が開催されていることを市のHPに情報を公開し、保護者がいつでも見ることができるようになっているのか。
- (事務局) 南丹市のホームページで放課後児童運営委員会の開催や、運営委員会議事録を公表しているが、公表をしていることの広報が不足してなので、今後保護者メール等で周知していく。
- (委員) 保護者説明会の際に、「必要な日、時間のみ児童クラブを利用してください」や、「家庭で過ごす時間を大切にしてください」と言われたが、ルールを守って利用している保護者にとっては不快に感じるのではないか。またこの説明はどの地区でも同様のことを伝えているのか。
- (事務局) 一定ルールを守っていただけない保護者があるため、全地区にアナウンスさせていただいた。児童クラブは保護者の就労支援及び子どもの健全育成の2つを目的として運営している。保護者の役割を代行するのではなく、今後も保護者を支援する存在でありたいと考えているのでご理解いただきたい。ただし、不快な思いをさせてしまったことについては、真摯に受け止め、今後保護者と子どもたちのよき支援者、居場所となれるよう検討を重ねていく。
- (委員) 運営委員会の会議時間について、本会議に出席するために仕事を休まなければならないが、会議終了時刻が下校時刻より遅いため、休みを取っているのに自宅で子どもを迎えてやることができない。下校時刻には自宅に帰っていられる会議の時間設定は難しいのか。
- (委員) 以前は、この会議が終了したら児童クラブの見学をしていたが、今はコロナで

実施していないためその流れの続きなのではないか。皆様の都合に合わせて時間を変更をしたらいいと思うし、もし児童クラブを見学するとなってもそれに合わせて時間設定をしたら良いと思う。

(委員) コロナ対応でお菓子を提供しない時期があり、今は出しているが、コロナ前と比べてお菓子の量や質は元に戻っているのか。また、徐々にコロナ前の活動内容に近づいて来てはいるが、今すごく感染者数が減ってきている中での冬休み、春休みの行事を復活できるのかの見込みを教えてください。

(事務局) おやつについては、一時期おやつを止めさせていただいた。それは、学校の方で、うがいやフッ素を止められた期間に合わせて児童クラブでも同様の対応として止めさせていただいた。緊急事態宣言も解除され、完全にではないが生活が戻ってきているということで10月末からおやつを再開している。クラブによっておやつの内容は違うが、おやつの内容が元通りに戻ったところと減らしているところがある。感染者が減ってきたとはいえ、しっかり感染対策をしたうえで、学校の給食と同じく黙食でおやつを提供している。今後の見通しだが、コロナ前と同じ冬休みではなく感染対策をしての冬休みとしていく。

(委員) おやつの量が少なくお腹がすいてしまう声があり、元には戻せないと思うが、引き続き少しずつ子ども達が快適かつ可能性が広がるような形でいろいろ考えていただけたらと思う。

(委員) 八木せきれい東が整備され次はたんぼぼの施設が整備されることで、今の状況で言うと園部第二小学校は学校内の教室を使っていた。八木せきれい西もおそらくたんぼぼの次に新設だとは思いますが、その辺りの見込みはどうか。

(事務局) 昨年度は八木せきれい東施設を整備し、来年度は八木せきれい西施設を建設していくことで計画している。園部第二小学校については、学校の施設を共有させていただいている中で、子ども達の受け入れ人数も増えており、現在は二部屋をお借りして開設している状況。現在は具体的には進んでいない状況。子ども達の人数的が増えてきていることと、二部屋で開設するとその分支援員の人数も必要になってくる。支援員の確保はこちらも厳しい状況のため、そのことも含めて園部第二小学校については、今後学校や施設を管理する教育総務課とも連携をとりながら考えていかなければならない。

6 閉会のあいさつ（吉田副委員長）